

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-12766

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)1月21日

C 07 D 249/08
// A 61 K 31/41

ADZ

6664-4C

審査請求 有 発明の数 3 (全7頁)

⑮ 発明の名称 新規ビスートリアゾール誘導体及びその製法

⑯ 特 願 昭61-76431

⑰ 出 願 昭57(1982)6月7日

⑱ 特 願 昭57-97494の分割

優先権主張

⑲ 1981年6月6日 ⑳ イギリス(GB) ⑨8117379

㉑ 1981年10月17日 ㉒ イギリス(GB) ⑨8131370

㉓ 1982年3月4日 ㉔ イギリス(GB) ⑨8206329

⑳ 発 明 者

ケネス・リチャードソン

イギリス国 ケント、カンタベリー、セント・ステイーブンス・ヒル 48

㉕ 出 願 人

ファイザー・コーポレーション

パナマ国 コロン、アベニダ・サンタ・イザベル、カレ 15 1/2

ベルギー国における営業所 ベルギー国ブリュッセル 9, ジェット, リュー・レオン・セオドル 102

㉖ 代 理 人

弁理士 湯浅 恭三

外2名

明 細 書

1. [発明の名称]

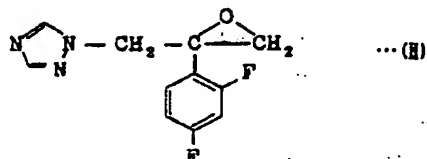
新規ビスートリアゾール誘導体及びその製法

2. [特許請求の範囲]

(1) 2-(2,4-ジフルオロフェニル)-1,3-ビス(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-オールおよびその薬学的に許容される塩。

(2) 2-(2,4-ジフルオロフェニル)-1,3-ビス(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-オールの製造方法において、

式(II):

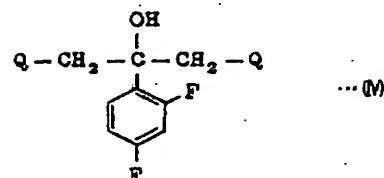


で示されるオキシランを1,2,4-トリアゾールと反応させることからなる方法。

(3) 2-(2,4-ジフルオロフェニル)-1,3-

-ビス(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-オールの製造方法において、

式(III):



(Qは塩素原子、臭素原子又はヨウ素原子から選ばれる易脱離基である)

で示される化合物を1,2,4-トリアゾールと反応させることからなる方法。

(4) QがClかBrである、特許請求の範囲第3項記載の方法。

(5) 塩基存在下で実施される、特許請求の範囲第2ないし4項のいずれか1項記載の方法。

3. [発明の詳細な説明]

本発明は抗真菌活性を有し、人間その他の動物の真菌感染の治療に役立つ新規ビスートリアゾール誘導体に関する。